



## 東京国際空港再拡張事業における 環境監視委員会の開催

### 記者発表資料

我が国航空ネットワークの拠点空港として極めて重要な位置を占めている東京国際空港（羽田空港）において、年間の発着能力を30.3万回(H19.9時点)から40.7万回に増強して、発着容量の制約の解消、多様な路線網の形成、多頻度化による利用者利便の向上等を図る再拡張事業を進めています。その中核となる4本目の滑走路（以下：D滑走路）の整備を国の直轄事業として、平成19年3月30日に現場着工し、着工から2年が経過しようとしています。この間も、東京湾の水環境や、大気環境に与える影響を極力回避する施工方法で工事を進めております。

再拡張事業の工事実施にあたっては、新設滑走路及び飛行場施設の工事中における環境監視計画〈工事中〉に基づき、学識経験者や関係自治体から構成される「環境監視委員会」（委員長 清水 誠 東京大学名誉教授）を設置するとともに、定期的に委員会、WGを開催し、環境監視結果の確認を受けながら工事を進めて参りました。

今般、平成21年3月19日（木）に第3回環境監視委員会を開催し、平成20年度夏季～秋季までの環境監視結果について委員会に諮り、環境監視上問題ないことが確認されました。

([http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/haneda\\_saikaku/kankyuu/03\\_com.html](http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/haneda_saikaku/kankyuu/03_com.html))

今後も継続して、環境監視を徹底し、その結果を定期的に環境監視委員会に諮るとともに、学識経験者等の意見を踏まえながら工事を進めて参ります。

平成21年3月30日（月）

国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所

#### 同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会  
都庁記者クラブ 千葉県政記者クラブ 東京航空記者会

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所  
D滑走路プロジェクト推進室 竹田・近藤・中島  
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5階  
電話 03-5756-6575  
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

# 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会構成

(順不同・敬称略)

## (学識経験者)

委員長 清水 誠 東京大学名誉教授  
委員 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授  
委員 古川 恵太 国土技術政策総合研究所 海洋環境研究室長  
委員 猿田 勝美 神奈川大学名誉教授  
委員 時田 保夫 財団法人小林理学研究所 顧問

## (行政関係者)

関係者 東京都 環境局都市地球環境部 計画調整課長  
関係者 神奈川県 環境農政部 環境影響審査担当課長  
関係者 千葉県 環境生活部 環境政策課長

## (事務局)

関東地方整備局  
東京航空局

## 第3回 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会 議 事 概 要

- 
- 【開催日時】 平成21年 3月19日（木） 15:00～17:00
- 【議 題】 ・東京国際空港再拡張事業に係る環境監視結果について  
・その他
- 【出席者】 清水委員長、小倉委員、猿田委員、時田委員、東京都、神奈川県、東京空港整備事務所、東京航空局
- 【開催場所】 羽田空港第一ターミナルビル 6F ギャラクシーホール B
- 【資 料】 資料-1 環境監視結果の概要について  
資料-2 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視調査結果報告  
資料-3 今後の予定について
- 

### 1. 開会挨拶

### 2. 委員長挨拶

### 3. 議 事

#### 3-1 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視結果について

【資料説明】：事務局より、工事の進捗状況について説明。その後、大気環境・水環境の監視結果について報告した。

委 員： 大気環境において、NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub> は想定していたよりも低い値だった。また、結果を見ると、建設作業の影響は出ていない。

委 員： 水環境の調査結果についても大きな変化は見うけられない。本日現場見学したが、栈橋のジャケット部分で付着生物が確認できた。本委員会の環境監視項目には該当しないが、今後、調査実施する予定はあるか。

事務局： 栈橋ジャケット部分での付着生物調査の予定はないが、観測櫓では付着生物の調査を行っており、分析については別の研究会が中心となって行っている。

委 員： 定期水質調査のうち、多摩川河口の汽水域でほう素が高い値を示した理由として海水の流入による影響を挙げているが、ほう素は海水の影響を受けやすいため、監視調査の際に潮汐を考慮して測定方法を設定する必要があるのではないか。

事務局： 水環境の資料編で塩分について掲載しており、海水の影響が確認出来る。

委員長： 汽水域におけるほう素については、海水の影響により高い値を示すため、観測の実施については事務局で検討して頂きたい。

事務局： 検討します。

## 第3回 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会 議事概要

- 委員： 調査結果については、一般の方に公開されているのか。
- 事務局： 委員会資料について事務所のHPで公開している。また別途、関係自治体である東京都、千葉県、神奈川県については結果を報告している。
- 委員長： 今回の監視結果の報告内容を確認すると、特に工事の影響はないと判断できる。

### 3-2 その他

[今後の予定について]：

- 事務局： 平成 21 年度は委員会を 2 回開催し、必要に応じて大気環境 WG、水環境 WG を臨時で開催する予定である。